

英語科学習指導案

日 時 令和2年10月22日(木)5校時
場 所 宮古島市立北中学校1年3組
生徒数 31名
授業者 亀濱 菜生

北中学校校内研究テーマ
主体的・対話的で深い学びのある授業づくり ～他者と協働し、粘り強く課題を解決しようとする態度を育む授業づくりを通して～
学校全体で重点を置いて育成する資質・能力
①自ら考え行動する力 ②他者と協働して課題を解決する力 ③最後まで粘り強くやり遂げる力
A エリア研究テーマ
「資質・能力の育成」を目指した学習指導と学習評価の工夫 ～表現力を高めるための指導と評価の工夫～

- 1 単元名 NEW HORIZON English Course 1 Unit 7 「ブラジルから来たサッカーコーチ」
- 2 内容のまとめ 話すこと「やりとり」ア:関心のある事柄について、簡単な語句を用いて即興で伝え合うことができるようにする。
- 3 Can-do リストとの関連(話すこと)
小学校外国語活動を踏まえ、初歩的な語彙や表現を用いて、自分のことや身近な出来事について、理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図ることができる。
- 4 単元の目標
 - (1) Who ...? /What time ...? /Which ..., A or B? の文とその答え方の形・意味・用法に関する知識・技能を身につける。 【知識・技能】
 - (2) 相手や相手の国のことを知るために Who...?/What time...?/Which..., A or B?などの文を用いて相手に質問したり、相手からの質問に答えたりしている。 【思考・判断・表現】
 - (3) 相手や相手の国のことを知るために Who...?/What time...?/Which..., A or B?などの文を用いて相手に質問したり、相手からの質問に答えたりしようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】
- 5 単元について
 - (1) 教材観
本単元では、光太がブラジル人のサッカーコーチであるパウロと対話をする中で、パウロの娘や、ブラジルの現地時間、ブラジルでの生活の様子などについて知っていく過程が教材となっている。また世界の都市の名前や日本との時差についても学習する。時差についての詳しい学習は次年度(社会科)に学習することになるが、世界についての知識を広げる機会としたい。特に、各国で話している言語は違うが、英語という共通の言語を使うことで、さまざまな国の人と対話ができることに注目させたい。

言語材料としては、Who ...? / What time...? / Which ...? などが扱われている。これらは小学校の外国語の授業でも出てくる表現で、英語の理解自体は簡単だと推測できる。今回はその英語を使って相手のことを知ったり、より深い対話をしたりするために質問する力を習得させたい。

(2) 生徒観

本学級は、授業者が担任を受け持つ学級である。今年度は新型コロナウイルスの影響で入学式が1ヶ月以上遅れあらゆる不安もある中、生徒たちは様々な変更に対応しながら一生懸命に学校生活に取り組んでいる。主に2つの小学校から入学してきており、徐々に出身小学校関係なく交流する姿が見られるようになってきた。また本学級には特別支援学級に所属している生徒、席に着いているのが難しい生徒、コミュニケーションをとることが難しい生徒など様々な特性を持った生徒がおり、可能な限り支援員がサポートに入ることになっている。最近ではクラスの雰囲気に変化が見え始め、それぞれの個性を理解したり、サポートが必要な場面では声をかけたりする生徒が増えてきた。

英語に関しては、5月に実施したアンケートで、「英語は好きですか」という問いに対し「そう思う・どちらかといえばそう思う」と肯定的な回答をした生徒は6割にとどまったが、「英語の授業は好きですか」という問いには8割以上の生徒が肯定的な回答をしており、英語の授業を楽しんでいる生徒が多いと考えられる。しかし、話す活動においてはまだ親しい人とでないで取り組むのが難しかったり、授業の中での発言が一部の生徒に限られていたりするので、一人ひとりが自己表現しやすい授業の雰囲気づくりに努めたい。

また、今単元では自分の好きな人物について話す際、前単元で学習した3人称単数現在形を用いることができる。文法の理解度や正確性を高めていくために、今単元でも活用し反復することで定着を図りたい。

(3) 指導観

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、学習形態に制限がある中での授業が続いている。生徒同士が一定の距離を保ったり向かい合って話したりすることをできるだけ控えなければいけない状況にあり、グループ活動は年度当初からほとんど行っておらず、ペア活動は9月から徐々に取り組み始めてきた。自己表現が得意ではない生徒が多いという実態に合わせて、ペアのパートナーは教師側で配慮してきたが、今単元からはクラス全体でのインタビュー活動の時間を設けることで、だれとでも対話することに徐々に慣れさせたい。

本単元の終わりには、ALT を相手に Q & A 形式のパフォーマンステストを予定している。予め生徒にテストの内容や評価の仕方を提示し、生徒が主体的に取り組む意欲が出るようにしたい。また生徒の実態等を踏まえ、今回は「一問一答形式」のテストを行うが、学年末には自然な会話の流れを重視した「やりとり」ができることを目標としている。現段階では、海外の人 (ALT) に自分の英語が伝わることの喜びが実感できる場としたい。言語材料の習得だけでなく、自己表現したり、自分のことを相手に聞いてもらったりという活動を通して、生徒の自己肯定感を高めていきたい。

(指導の工夫)

- ①単元の最初に単元目標と学習計画について確認し、生徒が見通しを持って学習できるようにする。
- ②必要に応じて、生徒のペア活動のパートナー決めに配慮する。
- ③話す活動の時や分からないところをクラスメイトに聞くときは席を立つことを認め、ずっと席に座っていることが難しい生徒に配慮する。
- ④会話でよく使う表現をファイルの見やすいところに貼っておいて、できるだけ英語を使うことを促す。
- ⑤Feedback sheet (振り返りシート) を活用して、生徒の理解度を見たり、生徒自身ができるようになったことを確認したりできるようにする。

- ⑥Feedback sheet に「今日の相手意識」という欄を設けて、相手にも配慮してコミュニケーションをとることを意識させる。
- ⑦教師が予め説明をし過ぎずに、言語活動とフィードバックを繰り返す中で生徒が理解していくようにする。
- ⑧生徒が目的意識をもって言語活動に取り組めるように、場面設定や活動の内容を工夫する。
- ⑨ICT を活用して説明を分かりやすくしたり、生徒の関心が高まったりするよう工夫する。
- ⑩文法事項のまとめは板書せず、プリントを配布し、授業ではできるだけ生徒同士の活動時間に充てる。また授業以外の時間でも生徒が主体的に学習に取り組めるようにする。
- ⑪分からないところを素直に聞いたり、分かることを友達に教えてあげたりする雰囲気づくりに努める。
- ⑫自分の気持ちを伝えるために、どの文法や表現が使えるか考えることが習慣化するように声かけをする。

6 評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
英語 [英・リス]	<ul style="list-style-type: none"> •Who…?/What time…?/Which…, A or B?の文の特徴やきまりを理解している。 •知らない人やもの、時刻について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、•Who…?/What time…?/Which…, A or B?などの文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> •相手や相手の国のことを知るために、好きな人物や時刻などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、Who…?/What time…?/Which…, A or B?などの文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> •相手や相手の国のことを知るために、好きな人物や時刻などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、Who…?/What time…?/Which…, A or B?などの文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。

7 指導と評価の計画 (TG=Today's Goal TS=Today's Sentence)

時間	ねらい・学習活動	知	思	態	記録	評価規準・評価方法	資質能力
1 本時	<ul style="list-style-type: none"> TG 相手のことを知るために、好きな人物についてやりとりしよう。 •Who…?の文の特徴やきまりを理解する。 •インタビュー活動で好きな人物についてやりとりする。 TS 相手のことを知るために、好きな人物についてやりとりする文を2文以上で書こう。 					<ul style="list-style-type: none"> •相手のことを知るために、好きな人物についてたずねたり自分のことを話したりしている。 <活動の観察> <Feedback Sheet> 	①
2	<ul style="list-style-type: none"> TG 時刻についてやりとりしよう。 •What time…?の文の特徴やきまりを理解する。 •インタビュー活動で、時刻についてやりとりする。 TS オンライン電話をする時間を設定するために、相手に何時に何をするか、時刻についてやりとりする文を2文以上で書こう。 					<ul style="list-style-type: none"> •時刻についてたずねたり答えたりしている。 <活動の観察> <Feedback Sheet> 	①
3	<ul style="list-style-type: none"> TG クラスのアンケート調査をしよう •Which…, A or B? の文の特徴やきまりを理解する。 •インタビュー活動で、クラスアンケート調査を行う。 TS クラスでアンケートをした結果を自分の考えをふまえて2文以上で書こう。 					<ul style="list-style-type: none"> •クラスにアンケート調査をするために、相手にどちらが好きかをたずねたり答えたりしようとしている。 <活動の観察> <Feedback Sheet> 	①

生かすことは毎時間行う。
記録に残す評価は行わないが、生徒の活動の状況を見て指導に

4	(本文理解 part 1) TG パウロに関する〇×クイズを作るために、光太とパウロの会話を理解しよう。 ・光太とパウロの会話を聞いて、概要を捉える。 ・内容に関する True or False questions を作成して問題を出し合いながら内容を理解する。 TS What did you learn about Paulo?					・光太とパウロの会話の内容を理解しようとしている。 <活動の観察> <Feedback Sheet>	②
5	(本文理解 part 2) TG 内容に関する〇×クイズを作るために、光太とパウロの会話を理解しよう。 ・光太とパウロの会話を聞いて、概要を捉える。 ・内容に関する True or False questions を作成して問題を出し合いながら内容を理解する。 TS What did you learn today?					・光太とパウロの会話の内容を理解しようとしている。 <活動の観察> <Feedback Sheet>	②
6	(本文理解 part 2) TG パウロに関する〇×クイズを作るために、光太とパウロの会話を理解しよう。 ・光太とパウロの会話を聞いて、概要を捉える。 ・内容に関する True or False questions を作成して問題を出し合いながら内容を理解する。 TS What did you learn today?					・光太とパウロの会話の内容を理解しようとしている。 <活動の観察> <Feedback Sheet>	②
後日	パフォーマンステスト	話す	話す	話す	○	・ALTとQ&A形式で行う	③
後日	定期テスト	書く	書く		○		③

8 観点別評価の進め方

ア Who...? /What time...? /Which..., A or B? の文とその答え方の形・意味・用法に関する知識・技能が身に付いている。 【知識・技能】

<p>(1) 評価方法 定期テスト</p> <p>(2) 評価の決定 「おおむね満足できる」状況(B)と判断した具体例 70%以上の正答</p> <p>(3) 「努力を要する状況」(C)と判断した生徒に対しての手立て 放課後等を活用して、個別に指導を行う。</p>
--

イ 相手や相手の国のことを知るために、好きな人物や時刻などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、Who...? /What time...? /Which..., A or B?などの文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【思考・判断・表現】

(1) 評価方法

ALT と Q&A 形式でパフォーマンステスト

(2) 評価の決定

「おおむね満足できる」状況(B)と判断した具体例

ALT の質問に対して自分の考え等をふまえて答えたり、ALT に質問したりしている。

(3) 「努力を要する状況」(C)と判断した生徒に対しての手立て

- 放課後等を活用して、個別に指導を行う。
- 生徒同士で教え合いながら目標達成できるよう、声かけをする。

<パフォーマンステストの方法>

• ALT と1対1で行う。

• ALT からの質問に答える。

(1) What time is it now?

(2) Who is your favorite person or character?

• ALT への質問

(3) A か B どちらが好きかたずねる質問をする。

ウ 相手や相手の国のことを知るために、好きな人物や時刻などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、Who...?/What time...?/Which..., A or B?などの文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。
【主体的に学習に取り組む態度】

(1) 評価方法

• ALT と Q&A 形式でパフォーマンステスト

• Feedback sheet

(2) 評価の決定

「おおむね満足できる」状況(B)と判断した具体例

• ALT の質問に対して自分の考え等をふまえて答えたり、ALT に質問したりしている。

• 毎授業後に Feedback sheet に記入して提出している。

(3) 「努力を要する状況」(C)と判断した生徒に対しての手立て

• 継続的に声かけを行う。

9 本時の学習

(1) 目標 相手のことを知るために、好きな人物についてやりとりしよう。

(2) 本時の展開(1/6時間)

	生徒の学習活動	指導上の留意点	評価方法
導入 10分	1 Greeting		

	<p>2 “Who” の導入 Interaction with the teacher</p> <p>3 Today’s goal の確認 相手のことを知るために、好きな人物についてやりとりしよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒から自然に Who?が出てくるようにする。 小学校で学習した“Who”を思い出させる。 ファイルを見ながら英語で対話するように促す。 質問をすることで相手について知ることができることを伝える。 	活動観察
展開 30分	<p>4 好きな人物について対話をする。〈ペア活動〉 →まずは自分で伝えたいことを整理する時間をもつ。 →対話をする。</p> <p>5 対話に必要な情報をワークシートに書く。 <Writing></p> <p>6 好きな人物について対話をする① 〈ペア活動〉 Who is your favorite person? < Speaking> <Listening> <Reading></p> <p>7 好きな人物について対話をする② 〈クラス全体にインタビュー活動〉 →時間があれば全体でシェアする。</p> <p>8 文法プリントを見ながら文法事項の整理</p>	<ul style="list-style-type: none"> 流暢に言語活動をすることが難しいと予想されるが、英語でどんなことを言いたいかわかりやすく認識させる場面とする。 アニメの登場人物でも OK。 分からない単語を調べる支援をする。 文ではなく、メモ程度に書かせる。 Unit 6 で学習した He/She~を思い出させる。 既習の英語を使うよう促す。 言語活動とフィードバックを繰り返す。 対話ができている生徒に発表してもらおう。 クラスメイトについて新しい発見があるように声かけをする。 時間がなければ省略する。 このプリントを参考に家で復習するように促す。 	活動観察
まとめ 10分	<p>9 Today’s sentences Feedback sheet の記入</p>	<ul style="list-style-type: none"> 分からない人はクラスメイトに聞いたり、分かる人が教えてあげたりする雰囲気をつくる。 	Feedback sheet

(3) 板書計画

Today's goal: 相手のことを知るために自分が好きな人物についてやりとりしよう。

Day: Thursday

Date: October 22nd

Who is your favorite person?

Weather:

(4) Today's sentences

自分のタブレットを使って、スイス (Switzerland) に住んでいる中学生の Cristina (クリスティーナ) とメールでやりとりをすることになりました。彼女のことを知るために、お互いの好きな人物について やりとりする文を、2文以上で書いてみましょう。